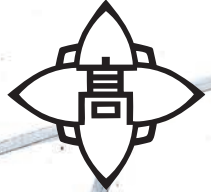




東陵



福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

第18号

発行／平成27年10月

飯塚市立岩1730の5

嘉穂東高等学校同窓会

イラスト提供

江頭 猛(高36回生)





ごあいさつ

同窓会会長 藤江文雄

本日、2015年度嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会総会及び同懇親会の開催にあたり一言、感謝とお礼のご挨拶を申し上げます。

とりわけ、今夏の天候不順は全国各地に未曾有と言われる災害をもたらしましたが、各地でご活躍の同窓生皆様方におかれましては、大きな災いもなくご健勝にお過ごしのことと推察しお慶び申し上げます。

さて、私たち役員は昨年度の同窓会総会において大役を賜り、微力ながら大過なくその任を遂行して参りました。その間、理事や専門部員の皆さんをはじめ、各地支部の役員・会員の皆様方のご理解とご協力をいただき衷心より感謝いたしております。

私は常々、同窓会活動の意味は何かと考えています。その一つは、当然卒業学校を同一にする者が、或いは卒業学年、卒業学級を同一にする者が集まり、過去を懐かしみ、旧交を温め、親睦を深めるという意味があります。しかし、小・中・高など各種学校における同窓会活動は愛校心を育てそれが郷土愛に、自校に対する誇りが地域への誇りに育っていくのだと考えています。従って、色々な課題を抱える地域の風土を高め、地域を活性化していくキーポイントを同窓会活動は握っているのだと考えています。

そのような深い意義を持つ我が同窓会は、懸案事項の一つである財政基盤の確立については皆様方から多様なご意見をいただきながらも、そのすべてを網羅できなかったけど、全国の同窓生の皆様方に年会費3,000円をお願いをいたしました。ご理解くださりご協力を頂いた同窓生の皆さんに深く感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。

同窓会活動の充実の点では本部組織を見直し、会長、副会長の他に三つの専門部を設置し、それぞれの専門部に部員を配置しました。そのため各専門部を中心に細やかな同窓会運営が展開されたと確信しています。

理事会への出席も多くなりました。以前は空席がみられた座席も、今ではほとんど理事で埋め尽くされるようになり建設的なご意見を多く頂いています。

同窓会のホームページが開設されたことも大きな発展でした。細やかな情報の提供はラインなどを利用した横のつながりを広めるのに大きな寄与を果たしました。加えてホームページにバナー広告を取り入れ収入の増加に効果的な役割を果たしています。広告提供にご協力いただいた方々に衷心よりお礼を申し上げます。今後も同窓生諸氏を繋ぐホームページ作りに努めて参ります。

今回の同窓会総会・懇親会の実施にあたり、当番回期の久保井委員長を中心とした各専門委員長の皆さん方の長期にわたる活動に深甚の感謝の念を抱いています。同時に当番44回生がスローガン「縁(えにし)」の下に集結され、熱い取り組みを展開されたことに比類なき感動を覚えています。「ありがとう！ありがとう！本当にありがとう！」

末筆になりましたが、冨田学校長をはじめ教職員の皆さん、また加藤会長を中心とするPTAの皆さん方の本同窓会に対する特段のご理解とご協力に対し深く感謝いたしております。

最後になりましたが、今日の同窓会総会及び懇親会を契機として、よりよい「縁」が広まること、加えて同窓生・在校生の益々のご健勝を祈念して、措辞ながらご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

校長 富田博之

同窓会の皆様におかれましては、日頃より母校発展のためにご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度は、同窓会に大学進学奨学金が創設され、卒業していく2名の3年生に進学資金を提供していただきました。2名の卒業生はそれぞれ法律を修めること、管理栄養士になることを目標に大学へ進学いたしました。同窓の皆様のお気持ちの籠った浄財をもとに、それぞれの夢を実現してくれることを期待しています。

さて、学校の現況ですが、先輩方が培ってこられた校風を継承、発展すべく、生徒たちは、明るく楽しくのびやかに本校での生活を謳歌しています。文化祭や体育祭で見せる生徒たちの生き生きとした姿は、特に同窓会福岡支部総会での先輩方の楽しくのびやかな姿と重なって見えます。次から次に演ぜられる福岡支部の先輩方の豊富な芸に圧倒されながら、「在校生もきつとああいうふうに成長していくんだなあ（失礼!）。やっぱり伝統の力だなあ」と痛感します。この「明るく、楽しく、のびやかな校風」は是非とも大切にしていかなければならない本校の貴重な財産だと考えています。

部活動にも7割を超える生徒が所属し、数多くの部が県大会出場を目指して日々、練習に汗を流し、そのほとんどが目標を達成しています。中でも、弓道部、水泳部、そして女子バレー部員によるビーチバレーは九州大会に出場しました。水泳部の2名は京都での全国大会にも出場し、女子50m自由形では5位入賞を果たしました。

一方、学業面では、「第一希望進路の実現」という目標の下、勉学に冷汗を流す生徒たちの姿が

校舎内に散見されます。特に、職員室横の「自学自習通路」（正式な名称はないのですが生徒たちの学習空間。私が以前勤務していた時は吹きっさらしの通路でしたが、勉強する生徒が増えたので“たぶん”、壁と天井がついて立派な勉強部屋になりました。まさしく生徒の力で学校が変わることの実例?）は、この季節の昼休みや放課後は3年生でいっぱいになります。また、図書館でも3年生対象の居残り学習会が9月半ばから始まったところです。すでに就職試験や公務員試験は始まっており、今年の3年生諸君もそれぞれの希望進路を是非実現してほしいと願っています。

また、本校の大きな特色の一つである英語科においても、数年のブランクの後に再開し海外語学研修を、昨年度のアメリカ合衆国に続き、本年度はオーストラリアで実施しました。費用がかかるのが難点ですが、高校2年生という多感な時期に、英語に包まれた異国の地で異文化に触れることは、今後の人生の中でどれ程の糧となるか計り知れません。今年の生徒たちも、自分のコミュニケーション力の不足を痛感しながらも、外国の人の温かさと家族のありがたさをしっかりと胸に刻んできたようです。

創立105年目を迎えた本校の今の姿を簡単にお伝えしました。先輩方が築かれた伝統を受け継ぎながら、地域に信頼され、愛される学校として着実に歩み続けています。今後とも、母校、嘉穂東高校に対し、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

マラソン大会



男子スタート ダッシュ!

平成26年11月8日(土)にマラソン大会・ぜんざい会が行われました。

マラソン大会は遠賀川河川敷を女子5km、男子10km走ります。

当日のコンディションは曇りで、気温は19度、あまり気温は高くなく、走りやすかったのではないのでしょうか。



男子折返し地点



ゴール!



女子折返し地点



女子先頭争い



ぜんざい会
ゴールの後の、お楽しみ

体育祭

平成27年9月5日(土)、嘉穂東高校で最大の学校行事である「体育祭」が開催されました。

今年のテーマは「東代無双」、サブテーマは「Make every effort」!

赤・青・黄の3ブロックが、このテーマのもと、1学期の終わりから約2ヶ月をかけて準備をしてきました。台風で練習日が減ったり、特に最終週は雨のため十分な練習時間を確保するのが大変でしたが、各ブロック工夫を凝らした素晴らしい体育祭となりました。



ダンス ～Pretty girls～ 2・3年女子
3年生のダンス委員を中心に、音楽の編集からダンスの振り付けまで自ら考えたダンスを踊りました。



全体応援 ～東代無双～
応援団長の野見山 司 君率いる、第61代応援団の指揮のもと、嘉穂東高生全員による応援です。



御神楽 ～舞い上げれ 東の華～ 1年女子
1年生女子による伝統の御神楽です。体育の授業から準備を重ねてきた成果を発表しました。



応援合戦 ～魅せる東魂～ 全員
各ブロックによる応援合戦! 準備に練習に今まで頑張ってきました! ブロック応援団・スタンドパネル・バックパネルすべてがひとつになって応援をしました!



総合優勝：赤ブロック
準優勝：黄ブロック
第3位：青ブロック

同窓生の活躍

渡 邊 剛 さん(平成4年卒・44回生)

国際車椅子卓球大会で世界を転戦中。

◆プロフィール

1973年7月24日生まれ 現42歳

飯塚市出身 東京都在住

伊岐須小学校→二瀬中学校→嘉穂東高等学校→私立別府大学
文学部史学科卒

大学卒業後は大分県内のホテルやレストランで飲食業に従事。

25歳で上京しサービスの立場からフランス料理を学ぶ。

33歳の時バイクの事故により脊髄を損傷、車椅子生活に。

現場をサポートするような立場で今も飲食業に携わっています。



卓球 渡邊 剛

◆卓球、車椅子卓球との出会いは？

中学・高校と6年間卓球部に所属。

それ以降はラケットを握ることはなかったのですが、僕と同じくバイクの事故で車椅子生活を送る中学の同級生の勧めもあって、2013年から車椅子での卓球にチャレンジ。当初はダイエットのための運動が主目的でした。

◆戦歴

2014年 第14回全国障害者スポーツ大会長崎がんばらんば大会 卓球競技 **金メダル**

第6回国際クラス別肢体不自由者卓球選手権大会 クラス3 **4位**

ナショナルチーム育成選手として国際大会出場権獲得

2015年 第35回ジャパン・オープン肢体不自由者卓球選手権大会

個人戦G2クラス **優勝**

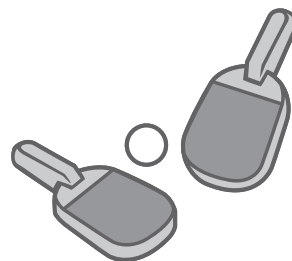
団体戦 **準優勝**

6月 スペイン・オープン 個人戦 **ベスト8**

7月 タイ・オープン 個人戦 **銅メダル**

9月 韓国オープン 個人戦 予選敗退

9月1日時点でのITTF世界ランキング クラス3 **57位**



◆これからの目標は？

車椅子で卓球を初めてまだ3年目、学生時代からのブランクも20年を過ぎ一般の卓球とはまた違う車椅子独特の戦術などに四苦八苦していますが、経験の浅さは嘉穂東時代に学んだ卓球スキルでリカバーし、2020年の東京を目指して、まずは世界ランクを確実にあげていけるよう努力を積み重ねていきます。

◆母校への思い

帰省するたびに学校のそばを通り、学び舎を眺め当時を懐かしみます。教室での思い出や部活動での思い出など、酸いも甘いも(笑)あの頃の思い出はいくつになっても色あせることなく僕の心に明確に存在します。飯塚を離れて20年を優に超えますが、回帰出来る原点ここにあり、僕のそんな心の支えです。

◆同窓生へメッセージ

嘉穂東高等学校の卒業生は全国各地で、または世界中で、それぞれの舞台で幅広くご活躍のことと存じます。また在校生のみなさんもこれから大きな夢を持って社会に羽ばたいていかれることでしょう。そんなみなさんと同じ「嘉穂東卒業生」のはしくれとしてその名に恥じぬように努力して参ります。

この場をお借りして、卒業生在校生の皆さま方の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

母校の動き

(1) 教職員の異動

転 出

佐藤 博英(総括教頭)	東鷹高校校長に昇任
小山 貴子(英語)	須恵高校へ
田中 啓之(英語)	西田川高校へ
高倉 直樹(保健体育)	鞍手龍徳高校へ
金子 達也(国語)	古賀特別支援学校へ
齋藤 啓亮(数学)	飯塚第一中学校へ
江頭 秀俊(事務次長)	西田川高校へ
山田 早紀(理科)	新規採用

転 入

開田 徹(教頭)	本校総括教頭に昇任
荻野 幹生(教頭)	浮羽工業高校より
古賀 大海(英語)	田川高校より
赤木 聖子(国語)	嘉穂高校より
中嶋 茂(数学)	嘉穂高校より
星野 浩之(保健体育)	東鷹高校より
瀬在丸 祐美子(養護教諭)	新宮高校より
本田 慎悟(事務主査)	嘉穂特別支援学校より
植木 桂子(司書)	福岡魁誠高校より

(2) 進路実績 ※合格者延べ人数

第67回生(平成27年3月卒業)

国公立大学	16名
(北九州市立大学 8名、九州工業大学 2名、山口大学 1名・鹿屋体育大学 1名・福岡女子大学 1名・福岡県立大学 1名・熊本県立大学 1名・名桜大学 1名)	
私立大学	283名
(西南学院大学 43名、福岡大学 87名、同志社大学 5名、立命館大学 2名、関西大学 2名他)	
短期大学	21名
看護系専門学校	21名
(麻生看護大学校 7名他)	
医療系専門学校	19名
その他の専門学校	43名
公務員	26名
民間就職	7名

(3) 部活動実績(全国大会・九州大会)

H26.10月～H27.9月

【水泳部】

★ジャパンオープン 2015 兼 第5回世界ジュニア水泳選手権代表選手選考会

(東京都) H27.5.22～24

植野 爽音(3年) 50mバタフライ

50m自由形

※以上、2種目出場

★福岡県高等学校総合体育大会水泳競技選手権大会(福岡県) H27.6.13～14

寺下 成行(3年) 100mバタフライ 第2位

200mバタフライ 第4位

植野 爽音(3年) 50m自由形 第1位

100m自由形 第1位

※以上2名、九州大会出場。

★第63回全九州高等学校水泳競技大会

(熊本県) H27.7.18～20

寺下 成行(3年) 100mバタフライ 第4位

植野 爽音(3年) 50m自由形 第4位

100m自由形 第2位

※以上、2名インターハイ出場。

★第83回全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(インターハイ)

(京都府) H27.8.17～20

植野 爽音(3年) 50m自由形 第3位



インターハイ

本校出場の寺下成行・植野爽音(会場前)



インターハイ

本校出場の植野爽音(決勝場内スクリーン)

★福岡県高等学校選手権水泳新人競技大会

(福岡県) H27.9.5 ~ 6

坂本 一真 (2年) 200m背泳ぎ **第3位**

藻形 誠哉 (2年) 50mバタフライ

北原 瑞咲 (1年) 50m自由形

【坂本 一真 (2年)・坂本 往海 (2年)・
藻形 誠哉 (2年)・青沼 飛和 (1年)】

男子200mメドレーリレー

※以上九州大会出場

★第70回国民体育大会水泳競技大会

(和歌山県) H27.9.11 ~ 13

植野 爽音 (3年) 50m自由形 **第7位**

【弓道部】

★第61回全九州高等学校弓道競技大会

(福岡県) H27.6.20 ~ 21

近藤 優実 (3年) 女子個人の部 **第3位**



全九州高等学校弓道競技大会

本校出場の近藤優実(壮行会)



全九州高等学校弓道競技大会

賞状と盾

【女子バレー部】

★福岡県ビーチバレージュニア男女選手権大会

兼 第18回ビーチバレージャパン

女子ジュニア選手権大会 福岡県予選会
(行橋市) H27.7.11 ~ 12

大谷 彩華 (3年)・塚本 美憂 (3年)

県大会 **第4位**

※以上2名、九州大会出場

★第1回全九州ビーチバレーボール

ジュニア選手権大会

(鹿児島県) H27.7.18 ~ 20

大谷 彩華 (3年)・塚本 美憂 (3年)

予選リーグ敗退



ビーチバレーボール
ジュニア選手権大会

本校出場の大谷彩華・塚本美憂



嘉穂東高校同窓会奨学金を創設しました。

同窓会給付型奨学金を創設する議案が平成27年1月13日の理事会で承認されました。

これを受け、平成27年3月17日に母校校長室にて、校長推薦で選ばれた2名の生徒に藤江同窓会長より直接、奨学金が手渡されました。(父兄同席のもと)

この制度が、より高い目標を持ち努力を続けている生徒の一助になればと願っています。



平成26年度 同窓会入会式

平成27年2月28日(土)

卒業式の前日に、毎年同窓会入会式が開催されています。今年には234名の卒業生が晴れて同窓会の会員となりました。母校体育館は凛とした雰囲気の中で生徒たちの着席する姿勢も話を聞く態度も素晴らしいものがありました。

入会のことばでは、生徒代表の伊藤祥平君が「嘉穂東高校で学んだことを生かしてこれからの進路へと旅立っていきます。そして、本校の卒業生としての誇りと同窓会の会員であるという自覚を持ち、日々精進していきます。」と力強く挨拶しました。



入会のことば



クラス幹事紹介

同窓会支部だより

関西支部総会・懇親会

開催日：平成27年4月18日

開催場所：大阪キャッスルホテル 3階 錦城閣

<http://www.geocities.jp/kahohigasikansai/>

関西支部は、支部の中で一番若い支部で、平成27年で6年目です。

支部では、総会等の室内行事だけでなく、野外にも飛び出しています。

その一例は、山元六合夫氏が企画し案内役を務めたハイキングです。

昨年は奈良の箸墓古墳から大神神社までの山辺の道を散策し、今年は枚方市の旧東海道、クラワンカの枚方宿を訪ねました。ここには、淀川資料館や鍵屋資料館などがあって往時の賑わいが伝わってきます。

来年、再来年の行事も既に決まっています。

(事務局長：中村 英)



東京支部総会・懇親会

開催日：平成27年5月30日

開催場所：品川プリンスホテル

<http://www.kahohigasi.com>

東京支部は昭和54年発足以来37回目の総会・懇親会です。本部役員の方々、開田統括教頭、近年の本部当番幹事(42回～44回生)の方々、近隣の高校(嘉穂高校・山田高校・稲築高校・田川高校)のご来賓をお迎えし、106名の同窓会となりました。

今回の当番幹事は高校17回生の学年で、日本各地から36名の同期生の方々が集結されました。余興ではプロ歌手井手せつ子さんのデビュー曲「黒い霧の町」から始まり17回生全員で手作り衣装を纏った「青春時代」の合掌が大変盛り上がりしました。

(副支部長：伊藤房憲)



福岡支部総会・懇親会

開催日：平成27年6月27日

開催場所：西日本新聞会館16階

<http://kahohigashi.sakura.ne.jp>

本年6月27日、第22回総会を開催致しました。幹事会で、今年は参加者200名を目指すことを決めましたが、残念ながら180名どまりでした。それでも福岡支部の特色である先輩・後輩がいろいろな出し物で、懇親会を賑わせ、盛況裏に終了致しました。

総会では飯塚病院、増本陽秀院長(第25回卒)の「酒と健康」について講演を頂き、男性は我が事を言われたようで、「まあ今日はいいか」と言い聞かせておりました。

(支部長 田代 勝)



同窓生だより

古稀記念旅行を顧みて

嘉穂東高校第15回生 古稀記念旅行実行委員会
委員長 山下鶴男

◎開催日：2014年10月5日～7日

◎観光地：京都・奈良

今回の旅行には全国から49名の同期の仲間が参加してくれました。全員が病気や怪我もなく無事に旅行ができたことに感謝致します。

出発前からハプニングが起きました。台風18号が発生し、テレビのニュースでは10月5日～6日に九州や近畿地方に上陸する可能性が高いと言うことで頭を痛めましたが幸いにして、台風は逸れてくれ無事予定通りに旅行することが出来ました。

◆10月5日(日)

博多発の新幹線では飯塚組と福岡組が合流し、久しぶりの再会に話が弾み「あっ」という間に京都駅に到着しました。

京都駅では「懐かしい顔、顔、顔」(^_^)-☆・・・関東・中部・関西等の同期生22名との再会です。皆さんの笑顔が瞬時に青春時代に甦りました。

全員で京都駅から旅館まではタクシーで移動し、その後は各グループで祇園界隈を自由散策いたしました。

祇園新門荘に49名が集まって、18時30分よりいよいよ大宴会の始まりです。古川さん・佐藤さんの名司会で進行、各クラスの紹介、田代福岡支部長の挨拶、関東の坂井さん・坂田さんの乾杯の音頭で開宴です。宴は大変な盛り上がりで予定していた時間を遥かにオーバーしてしまいました。各宴席とも大盛況でした。

最後は全員で校歌を合唱し、関西地区の大社さんの万歳三唱で幕を閉じました。

その後も田中隆事務局長ら有志のお世話で二次会が行われ、修学旅行を彷彿するように賑やかな交流会ができたようです。



祇園新門荘

◆10月6日(月)

2日目は観光バスで奈良に行きましたが、台風の影響で観光客が少なく世界遺産の東大寺・法隆寺・薬師寺が我々15回生の貸切のようで、ゆっくりと観光できました。こんな幸せなことは二度と出来ないと思います。

また東大寺のガイドさんの吉本喜劇顔負けのユニークな案内も忘れることができません。

奈良から京都駅に到着すると名残惜しいのですが一泊組の皆さんとのお別れです。お互いにまたの再会を楽しみにしてお別れました。

二泊組はからすま京都ホテルに入り少しの時間を各人各様自由に過ごしました。

夕食はホテル近くの居酒屋「葉」で行いましたが、ここでも話が弾み時間が足りません。なんと52年ぶりの愛の告白まで飛び出し大変な食事会になってしまいました。ここでも時間オーバーしましたが、店長から料金をサービスしていただき大変助かりました。もちろん、この後もホテルで二次会が催され、なかなか眠ることが許されませんでした。沢山の方が睡眠不足になられたのではないのでしょうか？



世界遺産・法隆寺



法隆寺を背景に

◆10月7日(火)

最終日の3日目は京都市内観光、石庭で有名な龍安寺・国宝第一号弥勒菩薩がお祀りしてある広隆寺・最後に京都を代表する景勝地嵐山の散策と曹源池庭園で有名な天龍寺を拝観しました。嵐山で昼食を済ませて京都駅へ、いよいよ皆さんとお別れの時がやってきました。皆さんとまたいつの日か再会出来ることを誓い新幹線に乗り込みました。同期の仲間と三日間を一緒に過ごし、思い出に残る旅行を堪能できたことは人生最高の宝物になりました。

同期生の皆様がいつまでも健康で幸福でありますように祈念いたします。



曹源池庭園



ごあいさつ

2015年度 嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会総会
実行委員長 久保井 英 樹 (44 回生)

秋色日毎に深まり紅葉も美しく、過ごしやすい季節となつてまいりました。同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。また、この季節は私たち嘉女・嘉穂東同窓生にとっては同窓会総会の季節でもあります。懐かしい旧友と思い出話に花を咲かせ、しばし心は青春時代にタイムスリップ。本年度、そのお手伝いをさせていただきます当番生を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

我々44回生がこの嘉穂東高校に入学したのが平成元年であります。

受験勉強の真ただ中、昭和から平成へと元号も変わり近隣高校が数ある中で嘉穂東高校を受験した15の春。義務教育を経て人生最初の選択でした。無事合格し、入学することができた同期480名。入学を迎えた日の喜びと、10クラス編成の人の多さに圧倒されたのが思い出されます。

入学後に間もなく受けた厳しい応援指導、繰り返し歌った校歌や応援歌…。

「清純、礼節、理知、勇気」の校訓のもと、たくさんの学びと思い出を与えてくれた我が母校。今思えば私の愛校心は、すでにこの時点で育まれていたのだろうと思います。在校中、私自身は部活に属さず、生徒会で活躍したわけでもなく、学生の本分である学業も決して誉められたものではありませんでしたが、恩師にも恵まれ、たくさんの友人だけはできました。部活動で嘉穂東の看板を背負って活躍する友人達、進学を目指し勤勉な友人達。ちよくちよく停学になる友人もいましたが…。充実しながらも「どの友人も頑張っているのに俺は何をやっているのだろうか？」と自問自答しながら迎えた卒業式でした。

それから24年の時が過ぎ、それなりに人生経験も積ませていただき、我々44回生有志はいずれ巡ってくる同窓会当番のために少しずつ準備を進めておりました。勉強の場として臨んだ2年前の同窓会懇親会で聞いた、開会宣言の「嘉穂東の水を飲んだものはまた嘉穂東へ帰る」という言葉の力強さと愛校心の極みに感銘を受けた私は、昨年の引継式で東魂を胸に奮い立たせて実行委員会

を立ち上げ、当番生実行委員長としてやり抜くことを決意しました。

本年度テーマである「縁にし 永遠に栄えん我等の集い。」は、同窓会を通じて嘉女の時代より脈々と続いている「縁」を各世代の皆様方とおつなぎするかけ橋となるように。また、サブテーマの「永遠に栄えん我等の集い。」は、このつながりが永遠のものになりますようにと願いを込めて決定いたしました。

長い準備期間でしたが、この当番生としての活動を通じ諸先輩方の母校にかける熱き思いや、現役学生の頑張っている姿を目の当たりにし、校歌の一節にある「我が学び舎に誇りあり」の歌詞により一層共感できるようになりました。特に42回生、43回生並びに本部役員の方には、右も左もわからないうちから手取り足取り教えていただき感謝いたします。また各支部総会まわりにおいても、我々当番生への温かいおもてなしとご声援にどれだけ励まされたかわかりません。

寄付金協賛金まわりでは本年度もたくさんの企業様にご協力いただき、多額のご寄付ご協賛を賜りました。

また今回初めて取り組んだノベルティ事業でも、たくさんの皆様にチャリティー販売へのご協力をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。トートバッグにかりんとう、金太郎飴、そして手拭い、缶バッジ。全て、商魂たくましい同期と愛校心溢れる同期の思いの結晶です。

最高の同窓会総会懇親会にするために、幾度となく重ねてきた定例会そして物品販売。44回生実行委員の誰が欠けてもできたことではなく、最後まで支えてくれた同期のみんなに心から感謝しています。この同窓会当番を終えてからが本当の繋がりだ。との言葉を教わりました。今回の貴重な同窓会活動を糧に、これからの人生を共に歩みたい。そんな思いで一杯です。

最後になりますが我が母校並びに同窓会の益々の発展と、この縁が永遠に栄えんことを願ひまして私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

同窓会役員を紹介

本部役員

会長	藤江文雄(高9)
副会長	森昭(高17)
〃	井上 有比古(高24)
〃	上田 奈美(高26)
〃	小池 千津子(高27)
総務部長	近藤 哲司(高31)
財務部長	永末 英雄(高20)
企画広報部長	伊藤 浩之(高32)
監事	花元 國雄(高21)
〃	尾籠 慎吾(高31)
事務局	上村 浩朗(高35)

福岡支部役員

支部長	田代 勝(高15)
副支部長	太田 克彦(高11)
〃	兒嶋 佳苗(高18)
〃	岩佐 守(高19)
幹事長	花岡 清利(高19)
副幹事長	武谷 政道(高21)
広報局長	山内 真紀子(高19)
事務局長	岩佐 守(高19)
会計	小川 民夫(高20)
〃	入江 裕章(高21)
会計監査	八尋 弓夫(高5)
〃	高嶋 禎一(高7)

東京支部役員

支部長	中野 滋徳(高12)
副支部長(事務)	木之下 喜久子(高15)
副支部長(会計)	伊藤 房憲(高20)
事務局員(会計)	村山 夕紀子(高20)
事務局員(HP担当)	松尾 正好(高20)
会計監査	久保山 清(高4)
〃	龍崎 保之(高8)

関西支部役員

支部長	田中 良一(高8)
副支部長	中野 弘則(高9)
〃	安藤 克史(高12)
事務局長	中村 英(高11)
会計	伊藤 日出雄(高21)
会計監査	荒牧 建蔵(高15)

本部だより

● 年会費について

現在、母校では生徒数が減少し会費収入は以前と比べて減少しております。加えて、学校の教育活動の充実のために県に予算要求を重ねておりますが、県の予算も逼迫しているのが実情で、同窓会から学校への物品購入にも支援を行っております。さらに、成績優秀な生徒を対象に同窓会奨学金制度も創設いたしました。

平成27年より同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただく事が決定し、趣意書と振込用紙は封書にて会員の皆様に発送させていただきます。同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

● ホームページのバナー広告募集について

公式ホームページの維持・管理費や同窓会運営財源の確保、同窓生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象に、バナー広告の掲載を承っております。掲載料は、年間10,000円(税込)と非常に安く設定いたしました。卒業生の皆様にはぜひ、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

今号の表紙イラストは高校36回生の江頭 猛さんをお願いしたところ、伊藤伝右衛門翁がなんと野球部の定期戦で生徒と一緒にスタンドで応援しているという素晴らしいイラストを提供していただきました。

「東陵」は年に1回の発行ということもあり、限られた紙面での情報掲載になります。同窓会公式ホームページでも最新のメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいりますので、卒業生の活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報をお寄せください。お待ちしております。

企画広報部

平成27年度 創立記念式典及び講演会

2015年5月8日(金)

創立記念式典は、年に1度、母校の長い歴史を振り返るひとつのきっかけとするために、毎年5月に開催されています。

式典では、富田博之校長が式辞を、同窓会の藤江文雄会長が祝辞を述べられました。富田校長はこの記念式典の由来などを紹介され、生徒を激励されました。藤江会長からは本校にある伊藤傳右衛門氏の胸像の由来や、校章の由来、校門のデザインの由来などを紹介していただきました。

続く講演会では、母校の25回卒業生で、飯塚市歴史資料館館長であられる嶋田光一さんにご講演いただきました。演題は、「わが学び舎の大地は古代遺跡の宝庫」です。

まず在学時所属しておられた郷土部のこと、考古学を学ぶため努力して目標の大学に入学されたこと、その後大学院に進学され、研究を続けられたことなど自身の生き立ちについて語っていただきました。

その後、立岩遺跡から10枚の前漢鏡が出土していること、立岩地区が交通の要所であり、良質な石包丁を用いた交易でさまざまな地区から当時の貴重な品を手に入れていたことなど、当時、この地区がいかに重要な立場であったのか郷土の歴史について語っていただきました。

最後に「飯塚の人間として誇りをもってほしい」と激励をいただきました。

講演終了後は、生徒代表謝辞、花束贈呈、応援団からのエールを送りました。

嶋田光一さんのますますのご活躍を、嘉徳東高校・同窓会一同、お祈りしております。



飯塚
トピックス

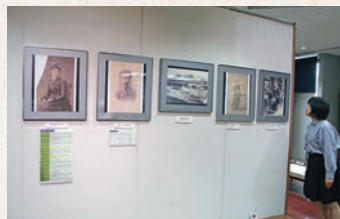
TVで再び脚光!! NHK朝ドラゆかりの地いづか!

昨年の「花子とアン」の放送以降、飯塚では、旧伊藤伝右衛門邸の入館者が急増し、人気の地となっています。また、今秋9月28日より放送開始された「あさが来た」の主人公「白岡あさ」のモデル「広岡浅子」は、明治17年(1884年)ここ飯塚市の「潤野炭鉱」を買収し、自ら陣頭指揮を執り、石炭の採掘事業に着手しました。

「花子とアン」から「あさが来た」へ!! 2年連続朝ドラゆかりの地となった“いづか”。旧伊藤邸の秋の企画展パート2(11/12~12/1)、飯塚市歴史資料館(10/1~12/1)で企画展が開催されます。是非ご覧下さい!



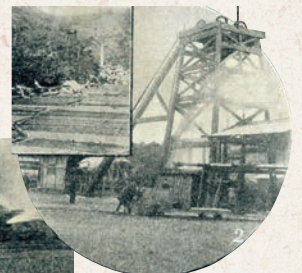
旧伊藤伝右衛門邸



飯塚市歴史資料館



潤野炭鉱「筑豊炭礦誌」より



潤野炭鉱
「筑豊炭礦誌」より

同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <http://kahohigashi-doso.net> です。

